

オペラ「エウゲーニ・オネーギン」の見所と聴き所

主な配役

オネーギン（バリトン）、レンスキー（テノール）、タチヤーナ（ソプラノ）、オリガ（メゾ・ソプラノ）、ラリーナ夫人（メゾ・ソプラノ） グレーミン公爵（バス）、トリケ（テノール）、ばあや（メゾ・ソプラノ）

第1幕： ラーリン家の庭の場面およびタチヤーナの寝室の場面

タチヤーナの寝室：ばあやとタチヤーナとの会話

タチヤーナの有名な手紙の場面：私は死んでもいいわ

再びラーリン家の庭の場面：オネーギンとタチヤーナ。オネーギンの返事。

第2幕： ラーリン家の舞踏会の場面および近くの森

舞踏会で：タチヤーナの名の日のお祝い。

1月12日：洗礼名の聖タチヤーナに因んでお祝いをする。

ムッシュー・トリケ（近くに住むフランス人の歌手）の
タチヤーナをたたえる歌。

オネーギンとレンスキーの諍い

冬の森の場面：決闘

レンスキーのアリア：わが青春の黄金の日々は、どこへ…

第3幕： グレーミン公爵の館

ポロネーズ

グレーミン公爵のアリア：恋は年齢によってさまざまだが…

オネーギンの手紙（タチヤーナの手紙の場面での

タチヤーナの台詞とほとんど同じ台詞をオネーギンが独白する）

ここから最後までがクライマックス。